

こち亀

こちら葛飾区亀有公園前派出所

THE MOVIE

勝どき橋を封鎖せよ! 🐢

8.6
ROADSHOW



祝!「こち亀」
35周年!
日本全国、両さんが
ラブ ちゅうにゅう
LOVE 注入♡

かちどきぼし

第145期 報告書

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)



松竹株式会社

株主の皆様へ

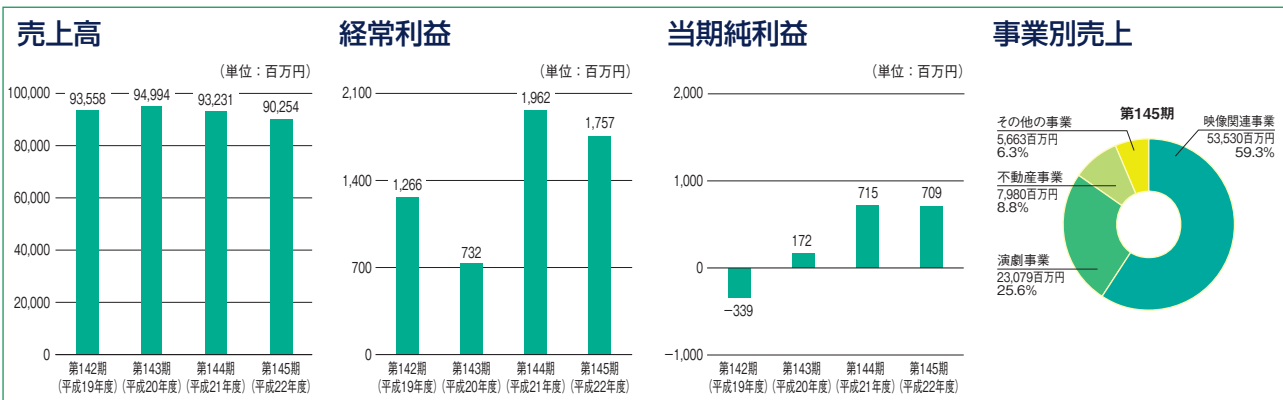
松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の日も早い復旧をお祈りいたします。
さて、当社は第145期（平成22年3月1日から平成23年2月28日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。
なお、当期の期末配当につきましては、1株当たり3円とさせていただきます。
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益・設備投資・個人消費の状況が少しずつ回復する等、緩やかな上昇傾向にあります。雇用・所得環境の厳しさや円高・デフレの影響等、景気下振れの懸念材料も残され、依然として予断を許さない状況で推移しました。

映画業界は、3D洋画作品「アバター」「アリス・イン・ワンダーランド」「トイ・ストーリー3」の3作品がそれぞれ興行収入100億円を超え、その牽引により、年間興行収入2,207億3,700万円（前年比107.1%）と歴代1位の成績となりました。また、年間入場人員も1億7,435万8千人（前年比103.0%）と前年を上回り、「3D元年」という言葉に象徴されるように、デジタル化が急速に進んだ1年となりました。ビデオグラム市場は、DVDからブルーレイディスクへ、店舗販売からインターネットによる販売への変化が進んでおり、セルマーケットの市場規模が5年ぶりに下げ止まったものの、全体では依然として厳しい状況が続いております。

演劇業界は、長引く不況の影響で、歌舞伎、一般演劇を問わず、厳しい興行状況が続いております。その一方で、人気のある演目の興行成績は依然として好調なことから、お客様のニーズに如何に対応するかが急務となっております。

不動産業界は、一時期回復の兆しが見られたものの、新築ビルの完成が相次いだことからオフィス空室率が上昇し、また急速な円高の影響もあり、賃貸不動産市場の悪化状況が続いております。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開しました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高90,254百万円（前連結会計年度比96.8%）、営業利益3,371百万円（同97.7%）、経常利益1,757百万円（同89.5%）となり、特別利益823百万円、特別損失1,209百万円を計上し、当期純利益は709百万円（同99.2%）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画12本、洋画4本、アニメ2本、シネマ歌舞伎3本、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。上期は若年層をターゲットにした作品が苦戦し、期待した成果を収めることができず厳しい結果となりましたが、下期は「BECK」「機動戦士ガンダム00」「大奥」「エクスペンダブルズ」「ゴースト もういちど抱きしめたい」「武士の家計簿」等の作品が健闘しました。

【興行】邦画、洋画合わせて222本の作品を公開しました。直営映画館の中でも特に新宿ピカデリーが好稼働し、8月には興行収入がオープン以来の「月間新記録」を達成しました。一方、大阪の梅田ピカデリーは、平成23年1月に閉館し、30年の歴史に幕を下ろしましたが、新たに本年5月4日にオープンする「大阪ステーションシティシネマ」に役割を移行します。

【テレビ制作】「赤かぶ検事奮戦記3」「鬼平犯科帳6」「天才刑事野呂盆6」の人気シリーズ作品や海外ロケを敢行した大型スペシャルドラマ「外科医 須磨久善」等、10作品12本を制作しました。中でも、藤田まこと追悼記念作品「必殺仕事人スペシャル2010」が話題を集めました。

【映像版權】《DVD・ブルーレイディスク販売》「釣りバカ日誌20ファイナル」「おとうと」「きなり〜見習い警察犬の物語〜」「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」等の劇場公開作品に加え、テレビアニメーション「戦国BASARA弐」やオリジナルアニメーション「たまゆら」を発売しました。特に「釣りバカ日誌20ファイナル」は、DVDの発売と合わせて「釣りバカ日

誌 大漁箱」(DVD+BOXシリーズ全22作品)を販売しました。また、出版社と共同して「小津安二郎名作映画集」「男はつらいよ 寅さんDVDマガジン」「鬼平犯科帳DVDコレクション」「必殺DVDマガジン 仕事人ファイル」を書籍ルートで販売しました。

《ライセンス販売》「トミカヒーロー レスキューフォース」を北米の最大手玩具会社へ販売しました。《放映権販売》主力となる地上波局へ「釣りバカ日誌」シリーズや「鬼平犯科帳」「男はつらいよ 柴又慕情」等を販売しました。《新たな取り組み》平成22年11月にiTunesにて、「GOEMON」「おとうと」「RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語」等の映画の配信をスタートさせました。

【CS放送事業】連結子会社の株衛星劇場においては、従前のHD放送やIPTV放送の進捗に加え、新たに「ホームドラマチャンネル」を「スカパー！e2」にも放送拠点を拡げ、高画質化とプラットフォームの多様化を進めました。

演劇事業

【歌舞伎座】平成21年1月から開幕し16ヶ月間に亘る「歌舞伎座さよなら公演」の掉尾を飾る3月、4月の興行は「御名残大歌舞伎」と銘打ち、大きな成果を収め、最終日となった4月30日には「歌舞伎座閉場式」を開催し、昭和26年1月竣工以来、多くのお客様にご支援をいただいた歌舞伎座は建替えに入りました。

【新橋演舞場】「五月花形歌舞伎」「八月花形歌舞伎」「初春大歌舞伎」等、歌舞伎座に代わる歌舞伎の本拠地として、充実した舞台を繰り広げ、また歌舞伎公演だけではなく、新派公演「三婆」



「BECK」
©2010「BECK」製作委員会



「武士の家計簿」
©2010「武士の家計簿」製作委員会



大阪松竹座平成22年5月
「勧進帳」
©松竹株式会社

や一般演劇の「ベテン・ザ・ベテン」等も好稼働しました。

【大阪松竹座】初めての試みとして企画した「團菊祭五月大歌舞伎」が大きな話題を呼び、また「七月大歌舞伎」「大奥」も好評を博し、ともに収益をあげました。

【南座】「坂東玉三郎特別舞踊公演」や師走恒例の「吉例顔見世興行」等が話題を呼び好評を博しました。

【その他の松竹主催公演】《日生劇場》滝沢秀明主演による「滝沢歌舞伎」や松本幸四郎による熱演が話題を集めた『カエサルー「ローマ人の物語」よりー』が高い評価を得ました。《三越劇場》新派公演「香華」「滝の白糸」「日本橋」が堅調に推移しました。《シアターコクーン》「コクーン歌舞伎」の新作「佐倉義民傳」が話題を集めました。《赤坂ACTシアター》「赤坂大歌舞伎」や坂東玉三郎による「牡丹亭」が大いに賑わいを見せました。《ルテアトル銀座》「坂東玉三郎特別公演」「二月花形歌舞伎」が大盛況となりました。特に64年ぶりの元旦公演となりました、「坂東玉三郎特別公演」の「元旦特別追加公演」は大きな話題を集めました。

【巡業公演】恒例の「第二十六回四国こんびら歌舞伎大芝居」、公文協主催の「松竹大歌舞伎」東コース・中央コース・西コース等が好稼働しました。

【海外公演】市川海老蔵によるロンドン・ローマ公演「通し狂言義経千本桜」、坂東玉三郎による上海公演「牡丹亭」が大きな話題を集めました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】《シネマ歌舞伎》「大江戸りびんぐでっど」「蜘蛛の拍子舞」等を上映しました。ま

た、ドキュメンタリー映画「わが心の歌舞伎座」を製作・公開し、貴重な映像資料を遺すとともに、好評を博しました。《METライブビューイング》4年目を迎えた当期は、「ワーグナー〈ニーベルングの指環 序夜〉(ラインの黄金)」 「ヴェルディ〈ドン・カルロ〉」を始め、過去最多の12演目を上映し、新しい娯楽のスタイルとして定着しました。

不動産事業

不動産賃貸は、東劇ビル、新宿松竹会館、築地松竹ビル（ADK松竹スクエア）、大船の松竹ショッピングセンター等の効率的運営に努め、安定収入の確保に貢献しました。昨年3月には松竹倶楽部ビルが、7月には新木場倉庫が竣工しました。また、12月に有楽町マリオンでは前テナントが退店し、後継のテナントとしてルミネが決定しました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》「劇場版 銀魂 新訳紅桜篇」「BECK」「大奥」「アリス・イン・ワンダーランド」「ハリー・ポッターと死の秘宝PART1」等の販売が好調な成績を収めました。《イベント事業》11月開催の「ハリー・ポッター グッズコレクション」、12月開催の「わが心の歌舞伎座展」等従来のコンテンツに加え、文化催事や物販催事等、幅広く展開しました。



日生劇場平成22年10月
『カエサルー「ローマ人の物語」よりー』
©松竹株式会社



有楽町マリオン
©松竹株式会社



日本橋高島屋「わが心の歌舞伎座展」
©松竹株式会社

対処すべき課題

今後のわが国の経済は、この度の東日本大震災による経済的損失が甚大であるため、景気の先行きは厳しいものと予想されます。当社グループは、企業価値を高め、幅広い世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。そのためには新たな取組みや更なるコスト削減を実施するとともに、コンテンツの充実を図ることにより、利益の向上を目指します。また、社会から信頼される企業に向かって、コンプライアンス経営の強化に取り組み、企業価値の更なる向上に鋭意努力して参ります。更に、当社グループの中核事業である映像・演劇事業の予想と実績の乖離が大きいという特性を踏まえ、収益基盤の安定化を図るよう、事業を展開して参ります。

《映像関連事業》映画製作につきましては、＜自社企画力・製作力の強化＞＜グループ内製化による設備・人材の集中＞を目的として、グループ全体の組織改編をしました。これまで以上に、企画の調達・選別力を強化するとともに、優れたパートナーとの連携を深め、時代のニーズをとらえた作品の提供に努めながら、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に邁進して参ります。

映画興行につきましては、より効率の高い運営を目指して、平成23年3月1日付で当社の映画興行部門を分割し、100%連結子会社の㈱松竹マルチプレックスシアターズに統合しました。これに伴い意思決定の迅速化を図り、お客様サービスの向上、マーケットシェアの拡大を目指し、収益力強化に努めて参ります。また、平成23年5月4日には、㈱松竹マルチプレックスシアターズが幹事となり、「大阪ステーションシティシネマ」（共同事業体）をオープンします。本シネコンは、JR大阪駅に直結し、大阪市では最多、関西最大級の12スクリーンを有する都市型シネコンとして、国内トップクラスの動員を目指します。

周年記念としては、今年平成23年は、山田洋次監督が『映画監督50周年』を迎えます。日本映画の金字塔「男はつらいよ」シリーズをはじめ、数多くの名作を世に送り出してきました。それを記念して、様々なプロジェクトに取り組みます。まず第一弾として、出版社から「男はつらいよ 寅さんDVDマガジン」全50巻を発売。続いてNHK-BSにて「山田洋次監督が選ぶ日本映画100選」の

放送。また、来年1月には三越劇場において新派公演「東京物語」の舞台演出等、全社で『山田洋次監督50周年プロジェクト』を盛り上げて参ります。

《演劇事業》2年後となります歌舞伎座再開場を視野に入れつつ、引き続き歌舞伎公演を中心に、新橋演舞場をはじめとする各劇場で魅力ある演目を上演して参ります。中でも、中村勘太郎改め中村勘九郎の襲名披露公演や平成中村座の公演を企画しております。また、バリエーションに富んだ演劇を提供すべく、映像と演劇が融合した「シネマ歌舞伎」[METライブビューイング]の作品ラインナップを今まで以上に充実させる他、韓国ミュージカルを招聘し上演する等、新しい試みにも挑戦して参ります。

《不動産事業》経済情勢の不安定やオフィス賃貸低迷の中、これまで以上に業界の動向に係る広範かつ的確な情報入手に注力し、テナント戦略を創意工夫して参ります。また、各ビルにおいて安定的な収入確保のために、より一層の経費削減と効率的運営に努めます。有楽町マリオンに関しましては、次期テナントとしてルミネが今秋にオープンし、レストラン部分は、来春オープンの予定です。

歌舞伎座の建替え計画につきましては、平成25年春竣工に向けて建設工事を始めております。新しい歌舞伎座で歌舞伎が次代に向け継承・発展し、さらには新たな日本文化の発信拠点として寄与するよう進めて参ります。

《その他の事業》景気動向の不透明感から依然として一般顧客の買い控え傾向が続く中、刻々と変化する顧客ニーズ及びマーケットへの迅速な対応を重点に置き、より多くのお客様に喜んでいただけるプログラム、キャラクター商品の提供に努めて参ります。またイベント事業に関しては、公営施設への事業参入や東京駅八重洲地下街に歌舞伎関連商品を取り扱うショップをオープンさせる等、新たな取組みを企画しております。従来の催事に加え、新たな分野への積極的な営業展開を図り、収益拡大を目指して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



新橋演舞場平成23年3月「源氏物語 浮舟」
©松竹株式会社



歌舞伎座完成予想図
©松竹株式会社

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	145期 (平成23年2月28日現在)	科 目	145期 (平成23年2月28日現在)
資産の部		負債の部	
流動資産	33,937,999	流動負債	25,670,837
現金及び預金	16,044,506	支払手形及び買掛金	7,606,457
現金及び預金（責任財産限定対象）	3,239,857	短期借入金	989,264
信託預金（責任財産限定対象）	3,380,561	1年内返済予定の長期借入金	9,387,008
受取手形及び売掛金	5,357,828	1年内返済予定の長期借入金（責任財産限定）	755,000
商品及び製品	300,000	リース債務	139,727
仕掛品	1,255,027	未払金	2,994,825
原材料及び貯蔵品	485,361	未払費用	900,030
前払費用	88,462	未払事業所得税等	72,044
繰延税金資産	500,140	未払法人税等	274,561
延税費	717,151	未払消費税等	146,715
繰延税金資産	480,588	賞与引当金	416,127
消耗税	655,141	リース資産の減損勘定	58,737
未収消費税	195,354	その他負債	1,930,339
倒引当金	1,270,563	固定負債	77,739,821
△ 32,546	136,935,122	固定負債	77,739,821
有形固定資産	104,108,897	社債（責任財産限定）	1,100,000
建物及び構築物	22,502,490	社債（責任財産限定）	10,000,000
信託建物（責任財産限定対象）	14,197,682	長期借入金	28,142,283
設備	14,171,500	長期借入金（責任財産限定）	28,670,000
機械装置及び運搬具	921,203	リース債務	494,710
工具、器具及び備品	1,007,931	繰延税金負債	1,656,457
土地（責任財産限定対象）	23,620,445	繰延税金負債	1,370,394
リース資産	18,751,834	役員退職慰労引当金	659,610
建設仮勘定（責任財産限定対象）	533,437	長期リース資産減損勘定	88,102
その他	410,728	受入保証金	4,763,201
無形固定資産	7,927,631	その他	795,062
のれん	64,011	負債合計	103,410,659
の借商標	2,151,647	純資産の部	
ソフトウエア	392,696	株主資本	67,426,535
その他	1,420,573	資本剰余金	33,018,656
投資その他の資産	16,314	資本剰余金	30,066,711
その他有価証券	276,119	利益剰余金	30,066,711
投資有価証券	45,942	自己株式	△ 1,254,064
長期前払費用	30,674,578	評価・換算差額等	136,707
長期前払費用（責任財産限定対象）	11,862,115	その他有価証券評価差額金	136,707
繰延税金資産	2,386,080	新株予約権	△ 277,350
繰延税金資産	1,163,197	少数株主持分	△ 130,517
繰延税金資産	8,295,810	純資産合計	67,504,437
繰延税金資産	638,138	負債・純資産合計	170,915,097
繰延税金資産	5,350,099		
繰延税金資産	1,112,855		
繰延税金資産	△ 133,718		
繰延税金資産	41,974		
繰延税金資産	41,974		
繰延税金資産	170,915,097		

連結株主資本等変動計算書

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
平成22年2月28日残高	28,143,695	25,199,919	5,259,407	△ 1,235,784	57,367,237	△ 42,333	△ 42,333	72,542	146,833	57,544,279
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	4,874,961	4,867,001			9,741,963					9,741,963
剰余金の配当			△ 373,603		△ 373,603					△ 373,603
当期純利益			709,427		709,427					709,427
自己株式の取得				△ 20,552	△ 20,552					△ 20,552
自己株式の処分		△ 209		2,411	2,201					2,201
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△ 138	△ 138					△ 138
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						179,040	179,040	△ 830	△ 277,350	△ 99,139
連結会計年度中の変動額合計	4,874,961	4,866,791	335,824	△ 18,280	10,059,297	179,040	179,040	△ 830	△ 277,350	9,960,157
平成23年2月28日残高	33,018,656	30,066,711	5,595,232	△ 1,254,064	67,426,535	136,707	136,707	71,712	△ 130,517	67,504,437

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	145期 (平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)
売上高	90,254,334
売上高	51,334,192
売上高	38,920,141
売上高	35,548,949
売上高	3,371,192
売上高	541,573
売上高	215,234
売上高	49,165
売上高	3,031
売上高	274,142
売上高	2,155,306
売上高	1,499,830
売上高	148,681
売上高	213,338
売上高	293,455
売上高	1,757,460
売上高	823,741
売上高	263,141
売上高	469,407
売上高	81,193
売上高	1,209,532
売上高	59,469
売上高	50,000
売上高	288,908
売上高	287,430
売上高	119,363
売上高	404,360
売上高	1,371,668
売上高	308,363
売上高	509,307
売上高	△ 155,429
売上高	709,427

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：千円)

科 目	145期 (平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,634,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,589,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,816,150
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,138,005
現金及び現金同等物の期首残高	18,127,921
現金及び現金同等物の期末残高	15,989,916

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	145期 (平成23年2月28日現在)	科目	145期 (平成23年2月28日現在)
資産の部		負債の部	
流動資産	19,597,083	流動負債	17,507,982
現金及び預金	11,638,689	買掛金	5,256,796
現金及び預金	3,934,091	短期借入金	7,432,232
現金及び預金	407,765	繰延税金負債	48,543
現金及び預金	58,367	未払費用	2,304,643
現金及び預金	412,081	未払事業所得税等	508,737
現金及び預金	603	未払法人税等	51,099
現金及び預金	12,662	繰延税金負債	116,498
現金及び預金	515,593	繰延税金負債	742,722
現金及び預金	190,438	繰延税金負債	470,230
現金及び預金	455,252	繰延税金負債	311,060
現金及び預金	59,719	繰延税金負債	2,435
現金及び預金	681,192	繰延税金負債	262,983
現金及び預金	190,470	繰延税金負債	36,370,957
現金及び預金	1,057,980	繰延税金負債	1,100,000
現金及び預金	△ 17,825	繰延税金負債	27,028,371
現金及び預金	101,821,938	繰延税金負債	136,460
現金及び預金	53,950,972	繰延税金負債	1,233,640
現金及び預金	21,449,878	繰延税金負債	528,937
現金及び預金	7,234,538	繰延税金負債	482,362
現金及び預金	176,241	繰延税金負債	4,424
現金及び預金	549,486	繰延税金負債	4,730,850
現金及び預金	81	繰延税金負債	1,125,909
現金及び預金	786,773	繰延税金負債	53,878,939
現金及び預金	23,219,878	繰延税金負債	
現金及び預金	123,365	繰延税金負債	
現金及び預金	410,728	繰延税金負債	
現金及び預金	1,210,668	繰延税金負債	
現金及び預金	10,238	繰延税金負債	
現金及び預金	974,866	繰延税金負債	
現金及び預金	16,314	繰延税金負債	
現金及び預金	209,249	繰延税金負債	
現金及び預金	46,660,297	繰延税金負債	
現金及び預金	9,995,141	繰延税金負債	
現金及び預金	12,767,340	繰延税金負債	
現金及び預金	10,000,000	繰延税金負債	
現金及び預金	5,267,425	繰延税金負債	
現金及び預金	5,620,617	繰延税金負債	
現金及び預金	4,215,036	繰延税金負債	
現金及び預金	738,522	繰延税金負債	
現金及び預金	△ 302,905	繰延税金負債	
現金及び預金	△ 1,640,879	繰延税金負債	
現金及び預金	41,974	繰延税金負債	
現金及び預金	41,974	繰延税金負債	
現金及び預金	121,460,997	繰延税金負債	

株主資本等変動計算書

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

(単位：千円)

	株主資本										評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金								
平成22年2月28日 残高	28,143,695	23,068,561	1,993,769	25,062,331	3,596,763	938,551	4,535,315	△ 772,559	56,968,781	28,373	28,373	72,542	57,069,697	
事業年度中の変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩					△ 41,984	41,984	—		—				—	
新株の発行	4,874,961	4,867,001		4,867,001					9,741,963				9,741,963	
剰余金の配当						△ 374,047	△ 374,047						△ 374,047	
当期純利益						967,400	967,400		967,400				967,400	
自己株式の取得								△ 20,552	△ 20,552				△ 20,552	
自己株式の処分			△ 209	△ 209				2,411	2,201				2,201	
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）										196,224	196,224	△ 830	195,394	
事業年度中の変動額合計	4,874,961	4,867,001	△ 209	4,866,791	△ 41,984	635,338	593,353	△ 18,141	10,316,965	196,224	196,224	△ 830	10,512,359	
平成23年2月28日 残高	33,018,656	27,935,563	1,993,559	29,929,122	3,554,778	1,573,889	5,128,668	△ 790,701	67,285,747	224,598	224,598	71,712	67,582,057	

話題を集めた多彩な歌舞伎公演



平成22年12月 日生劇場
十二月大歌舞伎「摂州合邦辻」
©松竹株式会社

145期の演劇本部は、新橋演舞場を拠点とした大歌舞伎興行のほか、歌舞伎の専門劇場ではない劇場での歌舞伎公演が話題を呼び、大きな成果をあげました。

そのひとつ、平成22年の掉尾を飾った日生劇場での十二月大歌舞伎は、尾上菊五郎を中心とした一座で、尾上松緑と尾上菊之助ら花形若手俳優がそれぞれ、由縁ある作品に挑戦して好評を博しました。特に「摂州合邦辻」は2010年度読売演劇大賞の優秀作品賞を受賞し、主役の玉手御前を演じた尾上菊之助は、同じく読売演劇大賞の優秀男優賞に輝きました。

また明けて平成23年の二月花形歌舞伎は、座席数約700のル・テアトル銀座で上演されました。市川染五郎、市川亀治郎ら若手花形が、片岡秀太郎、坂東彦三郎らベテラン陣の共演を得て、第一部の「お染の七役」、第二部「女殺油地獄」ともに大熱演、幅広い年齢層のお客様から大喝采を浴びました。



平成22年12月 日生劇場
十二月大歌舞伎「達陀」
©松竹株式会社



平成23年2月 ル・テアトル銀座
二月花形歌舞伎「女殺油地獄」
©松竹株式会社



平成23年2月 ル・テアトル銀座
二月花形歌舞伎「於染久松色読版 お染の七役」
©松竹株式会社

2011年 アニメ映画への取り組み



「劇場版 戦国BASARA
—The Last Party—」
2011年6月4日全国ロードショー
©2011 CAPCOM/TEAM BASARA



「鋼の錬金術師
嘆きの丘（ミロス）の聖なる星」
2011年7月2日全国ロードショー
©荒川弘/HAGAREN THE MOVIE 2011



「劇場版 テニスの王子様
英国式庭球城決戦！」
2011年9月3日全国ロードショー
©許斐 剛/集英社・NAS・劇場版テニスの王子様プロジェクト2011

ここ数年、高校生以上のオトナのお客様にもお楽しみ頂けるアニメ映画のヒット作が続いています。その多くは、深夜帯を中心としたテレビ放映で人気を博し、その劇場版がヒットしているもので、今年、松竹では4作品の配給を予定しています。

4作品の中には、「戦国BASARA」のようにテレビアニメ段階から松竹が製作に主体的に関与したものもあれば、「鋼の錬金術師」「テニスの王子様」「けいおん!」のように、テレビアニメでヒット実績のある作品の映画配給を担当するものもあります。

松竹では今後とも、映画配給だけでなく、テレビアニメ段階からの製作関与も含めて、こうしたアニメ作品の取り扱いにも注力していく所存です。

松竹のお届けするアニメ作品にぜひご注目下さい。



「映画 けいおん!」2011年12月3日全国ロードショー
©かきふらい・芳文社/桜高軽音部

会社の概要

商号

松竹株式会社

設立

大正9年11月

資本金

33,018,656,642円

従業員数

601名

本社、支社および営業所

本社

東京都中央区築地四丁目1番1号

電話

03-5550-1533（総務課）

関西支社（大阪）

九州営業所（福岡）

当社ホームページ

http://www.shochiku.co.jp/

役員

代表取締役会長

大谷信義

代表取締役社長

迫本淳一

専務取締役

野田助嗣

専務取締役

安孫子正厚

常務取締役

中島厚人

常務取締役

細田光文

取締役相談役

上條清昇

取締役

油谷昇

取締役

荒牧大四郎

取締役

武中雅人

取締役

井手良樹

常勤監査役

岡田敏明

監査役

柏木俊彦

監査役

中川勝弘

グループ会社一覧

連結子会社

・松竹衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸

・（株）松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業

・松竹関西サービス（株）：不動産管理・清掃

・（株）ショウビズスタジオ：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生

・中映（株）：浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営

・松竹芸能（株）：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作

・（株）衛星劇場：CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】

・（株）松竹京都撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負

・（株）松竹デジタルセンター：映像制作、編集およびDVDオーサリング

・（株）松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館（シネマコンプレックス）の開発・運営

・（株）トライメディア：劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等

・松竹音楽出版（株）：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理

・歌舞伎座舞台（株）：演劇舞台の大道具製作・販売

・（株）松竹ニューセレクト：複合映画館「MOVIX本牧」（8スクリーン）の映画館運営

・（株）関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸

・日本演劇衣裳（株）：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸

・（株）歌舞伎チャンネル：CS・CATV放送局、ソフト製作・編集

・（株）松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント

・匿名組合築地ビルキャピタル：ADK松竹スクエアの賃貸借および管理

・匿名組合KSビルキャピタル：資産流動化法に基づく特定資産（歌舞伎座建替え計画におけるオフィス部分）の開発・賃貸借・管理に係る業務

持分法適用会社

・（株）サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他

・札幌シネマフロンティア（株）：複合映画館「札幌シネマフロンティア」（12スクリーン）の運営

・（株）イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス

・日本映像振興（株）：映像関連イベントの企画・運営

・（株）歌舞伎座：歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸

・新橋演舞場（株）：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸

・インターローカルメディア（株）：放送法による委託放送業務及びその他の放送一般事業

株式の状況

発行可能株式総数

300,000,000株

発行済株式の総数

139,378,578株（自己株式1,043,018株を含んでおります。）

（注）平成22年3月17日を払込期日とする第三者割当増資による新株式発行により7,960,000株、平成22年6月30日を払込期日とする公募増資による新株式発行により5,000,000株および平成22年7月13日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行により723,000株が増加し、発行済株式の総数は13,683,000株増加しております。

株主数

20,844名（前事業年度末比1,847名増）

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500	3.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344	3.14
セコム株式会社	3,700	2.67
三井物産株式会社	3,700	2.67
株式会社大林組	3,600	2.60
大成建設株式会社	3,444	2.49
清水建設株式会社	3,390	2.45
西松建設株式会社	3,288	2.38
株式会社TBSテレビ	2,542	1.84

（注）持株比率は自己株式（1,043,018株）を控除して計算しております。

株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	映画優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数（1ヶ月使用可能ポイント数）
1,000株以上	80ポイント（40ポイント）
2,000株以上	160ポイント（60ポイント）
3,000株以上	200ポイント（80ポイント）
5,000株以上	280ポイント（100ポイント）
8,000株以上	400ポイント（120ポイント）
10,000株以上	480ポイント（140ポイント）

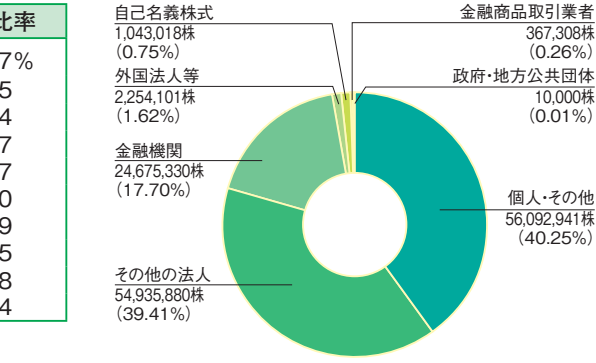
※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。

※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。

新宿ピカデリーは公開の2週目（8日目）以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。

※6月1日より、3D映画、1名様につき15ポイント（通常10ポイントの1.5倍）で、ご鑑賞可能となります。（「新宿ピカデリー」のみ30ポイント）

【所有者別株式分布表】





株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月下旬
株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株
公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

1.ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定手続きにつきましては、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなります。振込指定のお手続きにつきましては各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金受領証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

● 1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ 【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

- ① 当社株式を証券会社の口座をお持ちの株主様
お取引の証券会社へお問合せください。
- ② 上記以外、特別口座をお持ちの株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問合せください。

● 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問合せください。